

## 踏み跡 <My Mountains>

奥秩父

大弛峠から金峰山

No.182

車で山へ行く癖が付いてしまった。  
何と6年ぶりに恩田と奥秩父を歩くことになった。  
入山ルートは車の利点を活かして、秩父から中津川溪谷を経て三国峠を越えて秋山に入り大弛峠を目指そうと言うもの。  
山歩きもさることながら、通常の交通手段では体験できないようなルートから入ってみようという「山岳ドライブ付き登山」  
今や金峰山や国師岳へは車で入れる時代になってしまった。

昭和53年11月3日

9時に自宅を出発。天気は快晴。京葉道路・首都高速を経て護国寺で恩田をピックアップ。

新青梅街道から青梅へ、小沢峠を越えて名栗川の谷に下り山伏峠を越えて秩父へ。

そして荒川に沿って遡り大滝から中津川溪谷へ。本日の走行距離は170.5Km。(右上写真：両神山)

昭和53年11月4日

荒川源流の谷を遡る中津川林道(通行料¥250)を登り三国峠に10時15分に到着。(右写真)

晴れた空の下、関東平野の向こうに筑波山まで見える。

三国峠は埼玉県と長野県の県境、1754m。ここから北にそびえる三国山は、さらに北に群馬県を加えて、その名のとおり三つの国の国境になる。そして1834mの頂は、千曲川(信濃川)・神流川(利根川)・中津川(荒川)の三つの大河の分水嶺の役割を果たす。

三国峠を下ると秋山の蔬菜畑を車窓に眺めながら秋山へ。秋山から金峰山川に沿って南下して峰越林道。

そして大弛峠に11時45分に到着。自宅を出てからここまで221.5Km。林道の傍らに車を止めて身支度を整え、登山スタイルに変身。

昼食をとって12時40分に歩き始め。

足元には靴底を没する程度の雪。日陰に入るとさすがに11月の冷たさが支配している。(右写真)

朝日岳13時35分、振り返れば国師ヶ岳、前には金峰山。(下の写真)

金峰山頂上に14時15分に到着。今までにこんなに簡単に金峰山の頂上に辿り着いたことはあっただろうか。

甲斐駒を中心に南アルプスの主稜線も鮮やかに行列を作っている。30分間景色を楽しんだ後大弛峠に戻った。

16時10分、荷物をトランクに投げ込んで15分ほどの小休止の後出発。

ところが……、車のエンジンがかからない。駐車した場所はもう陽が当らず冷え冷えとして凍りつくような冷たさになっている。車はやや下り坂気味の路肩に止めておいたので助かった。ニュートラルにしてサイドブレーキをリリースして下り坂に任せるとすぐにローに入れる、無事成功。寒冷地仕様になっていない中古のサニーは寒さに悲鳴を上げた様子。下り坂を利用して、へばったバッテリーに充電しながら塩平へ。



# 踏み跡 <My Mountains>

塩平の集落の中で金峰山荘という民宿を見つけて宿泊の交渉。(一泊二食付き 3000 円)

昭和53年11月5日

朝食をとってひと休みの後出発。甲府に出て、恩田の友人がやっている宝飾店（丹沢宝飾店といったか？）に立ち寄り、原石や貴石画の見学。

20号バイパスを走り、途中で昼食をとり中央高速経由で。途中で恩田を下して、自宅には17時30分に帰着。体力の半分以上はドライブにつぎ込んだ感じの山行だった。

以上

